



正法寺新聞

どこのお寺でしよう？



正法寺新聞、 リニューアルです！

実はこの写真、正法寺の本堂です。十月に予定している宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を前に本堂の仏具がお洗濯に出かけました。前号の新聞でご報告した佐世保別院改築と共に今回の御遠忌法要に向けた大事な事業です。その詳細を今回の正法寺新聞リニューアル号でお伝えします。

2015. 2.

第 6 号

第 6 号

正法寺発行

宗祖親鸞聖人
七百五十回御遠忌法要

特集記事②



秋風の心地良い十月二十二日、本堂内陣の仏具が洗濯へ出かけました。まずは寺族・総代の皆さんでお勤めをし、仏具屋（八女の井ノ口仏壇）さんの到着を待ちました。台風被害の際少々のお手入れはあったとは言え、ここまで大がかりな修復は本堂再建以来のことです。今回御門徒の方々より寄せられた御懇志金のほとんどはこの仏具のお洗濯に充てられます。普段は見ることも出ない箇所を拝観することも出来、本堂を支えて来て下さった方のお名前を見つけるなど、貴重なひと時でした。総代の方々も興味深かったようで、皆さん写真を撮られていました。午前中のみを予定していた作業は午後三時までおよび、無事トラックにて出発して行きました。



『正法寺本堂と私』

渡辺ツヤ子（久原）

私の実家は他宗ですが、小学校の高学年の頃お友達に誘われて短期間日曜学校に行っていました。でも、本堂裏側のやまももの木の所で遊んでいた記憶しか残っていません。それから何十年も経ち、今度は主人が亡くなり正法寺様にご縁を頂きました。真宗のお経も何も判らないでお寺に行っても涙が出ることばかりでした。そうして私に「本堂に座っていれば（教えが）毛穴からでも入るんだから」と言って私にここに座りなさいと優しく声をかけて下さった方が何人もいらっしやいます。この方達も今では先に仏様になられた方、ご病気やご高齢でお参り出来なくなられた方などおられます。最近、お内仏前に掛けてある法語カレンダーをめくっていますとこの言葉が妙に気にかかります。『前に生まれん者は後に導き、後に生まれん者は前を訪え』先達の方はこの言葉をご自分の身に引き受けて後の者を導いて下さり何百年も教えが引き継がれて来たのでしよう。先達の方に感謝をしながら、本堂に座らせて頂き聴聞していきたいと思っています。

御懇志金の申込み締切は過ぎましたが、今年8月まで御納金の期間がございます。申込みがまだの方も受付しておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



本堂の屋根裏にも上って作業。

寄付をされた方のお名前を発見。

仏具は9月に正法寺へ戻る予定です。

紙上体験

正法寺

①清掃奉仕

お寺の行事へあまり来られた事がない方も、紙上で正法寺を体験出来るコーナーです。

お寺という正法寺は門徒の方々の様々な御奉仕によって支えられています。一年に九回と回数も多い活動ですが、お寺には様々な行事があり、なかでも「清掃奉仕」は居が高くて...と思われる方も、か、どこを掃除するのか、持っていくものがあるのか等の疑問にもお答えします。行ってみたいけれど、様子が分からず不安だと思われる方の参考になれば幸いです。

1. お寺へは車や徒歩で。まずは本堂に上がります。



2. ご本尊に合掌の後、名簿に記入します。

お寺の行事はいつも「ご本尊」を中心に行います。清掃奉仕の際は皆さんが一同に集まりませんので、個人個人で初めと最後に本堂にて合掌・礼拝をされるようお願いいたします。



3. 初めてのの方は本堂の掃除から始めてください。



本堂はおもに畳の乾拭きです。窓の棧や廊下を拭くこともありますが、すべて「乾拭き」です。法要や講座に向けイスや机を並べることもあります。



清掃奉仕日は門徒廟(納骨堂)の掃除も行いますが、参加者が少ないのが現状です。今回の記事にて掃除用具の不備も確認しました。新しい用具をそろえてお待ちしております！



門徒廟(納骨堂)に加入の方は門徒廟のお掃除を。



お疲れ様でした！

次の清掃奉仕は

3月16日(月)です。

お待ちしております！

最後は皆さんとお茶のひと時。



終了後は本堂にてお弁当をお渡し、皆さんでお茶を飲みながらお話をしています。今回の取材時には、小玉さん(荒平)より「手作りカステラ」の差し入れがありました！

4. 客殿・玄関・庭などの掃除にも参加。→



お配りする弁当は手作りです



男性の参加者もおられます。男性は外の掃除が多いようです。排水口や道路脇の落ち葉掃きなど細かい所まで掃除されます。



掃除道具について

草取り鎌やほうきなど、外の掃除用具は揃っていますので持って来られなくて大丈夫ですが軍手は各自ご用意下さい。本堂等で使用済みのタオルをたくさん使います。提供下さる方は持参下さい。

お寺とお掃除

真宗寺院は「門法道場」とも言われ法を聴く場として大切に護持されてきました。清掃は法要の二日前。場を整えることで身体も整い、法要を迎えることが出来る。清掃奉仕はそのような行事です。

私たちが洗心会の役員をしています!!



昨年末、洗心会の役員が集まり、坊守さんと共に今後の会運営について色々話をしました。写真はその時のものです。ご奉仕活動や研修会・研修旅行など新しい体制で活発になり定着しつつあるもの、もっといろいろな方に関わっていただけるといいかな。それが今後の課題です。そこで今回は役員の方々の自己紹介もかね、皆さんに一言ずつ頂きました。

- A. 趣味や特技や習い事など
- B. 会への思いや、会員さんへ一言

① 堀出美智子【諫早】会長
A. 転勤で諫早にきました。視覚障害者の一助となる音声訳を始めて二十五年経ちました。
B. 悲しみの中、お寺にご縁があらわれ、聴聞する中で少しずつ笑顔が戻られるようになってきたと思います。

② 渡辺ツヤ子【久原】役員
A. 大正琴を習っていますが、難しく苦勞しています。花を畑やプランターでたくさん育てています。
B. お寺にみえるのも大変ですが、本堂に一回でも多く座って頂きたいです。

③ 山口博子【杭出津】役員
A. 旅行
B. 皆で楽しく協力しながら行事に携わっています。あなたの御参加をお待ちしています。

④ 當房純代【桜馬場】会計監査
A. 特技ではありませんが、和裁をほちほちして過しています。
B. いつも和気あいあいと楽しい洗心会です。ぜひ参加されませんか？お待ちしております。

⑤ 小林妙子【杭出津】会計監査
A. 月二回民踊協会の踊りを習っています。
B. お齋の炊き出しなど台所のお手伝いをして楽しんでます。料理も皆でアイデアを出し合っている勉強になります。ぜひ参加してみてください。

※内田吉子【諏訪】会計(この日欠席)
A. 趣味と言えるかわかりませんが、歩くことに楽しみを見つけました。
B. 草花が季節ごとに命を、そこにお経の言葉が重なってきます。人として生まれる事難き命を念仏の中に見つけていきたいと思っています。

お便りコーナー

お便りや
寄稿文
待ってます!

特集に清掃奉仕を掲載した今回、たまたま届いた寄稿文も清掃についてのものでした。朝の掃除もいいですね!!



「早朝清掃の思い出」 福山博文 (池田)

平成初期の13年間、総代5人が毎朝6時から境内と庭園の清掃作業をしていた時のことを思い出します。まず落葉やゴミを拾い集め、焼却炉に運びます。次に竹箒で広い境内を掃き、特製の熊手でさざ波状の線を引きます。紅葉の季節には大木の銀杏の落葉が道路や近隣の庭先まで広がります。その落葉拾いは一苦勞でした。きれいに仕上がった頃、庭園の作業が終わり、7時からお朝事に参加します。本堂に上がり、ご住職に合わせて念仏、正信偈を称えて、清々しい気持ちになったところへ、坊守様のお茶をいただきます。そのお茶のおいしかったことはいつまでも忘れられません。その当時の夜の学習会ではご住職から『歎異抄』『親鸞聖人』などを学んでいました。

平成26年8月30日病床で

お便りはこちらへお待ちしております。
〒856-0828
大村市杭出津2-708 正法寺・
「新聞寄稿文宛」
E-mail: info@omura-shoboji.net

正法寺近況

お寺の近況を写真と共にお届けします

夜の学習会が始まりました

昨年9月より夜の学習会が始まりました。テキストは『のこのこおじさんの楽しくわかる歎異抄』を使用します。お昼に出られない方はぜひ夜の学習会にお越し下さい。詳しくは年間行事一覧表をご覧ください。



お寺にて販売中

机と椅子を購入しました

御門徒の方よりお寄せいただいた永代経志にてお齋を頂く部屋の机と椅子を購入いたしました。今後は机席にて法要合間のお齋(昼食)をいただけるようになりました!!



↑
1月28日(水)の洗心会初会(総会)にて今年の会費は600円(例年通り)と承認されました。納入をお願い申し上げます。

平成27年 洗心会行事一覧

日程	内容	備考
1/28(水)	洗心会初会(総会)	
2/1(日)	長崎教区3組若婦人研修会	佐世保別院
2/25(水)・26(木)	長崎教区婦人会連盟一泊研修会	ハウステンボス
4/14(火)	一日研修旅行(八女の浄圓寺など)	井ノ口仏壇見学
5/17(日)	洗心会主催初参り式/花祭り	
7月上旬	教区婦人会連盟総会	長崎教務所
10/21(水)	洗心会物故者追悼法要	
10/24(土)	洗心会主催敬老会	

今年の一泊研修会は開催しないことになりました



本願名号正定業 至心信楽願為因
成等覚証大涅槃 必至滅度願成就

さて、弥陀章に入って今回で四回目となりませんが、いよいよこの章の結びとなり、弥陀章の最初でもお話ししたように、阿弥陀如来はすべからずの人々を救いたいという願いをおこされ、阿弥陀如来は四十八の誓願を立てられるのです。それが本願や誓願と呼ばれるものです。その中でも中心的な要となる本願が十八番目の願である法然上人・親鸞聖人が選んで下さっています。そして「往生の願」と呼び、また親鸞聖人は「至心信楽の願」と名付けて下さっています。

では、その第十八願の内容を見てみましょう。原文では難しいと思うので現代文で表現すると「もし私が仏となる時、あらゆる世界の人々が、**「真実の心（至心）」**を持って信じ喜び（信楽）、私の国に生まれたいと願って私の名前（名号）を称え、もし生まれないようなことがあったならば私は仏とならない。ただし五逆の罪を犯したり、正しい教えをそしる人は「除く」という誓いとなります。

さて、ここに出てきます「真実の心を持って信じ喜び」とはどういうことでしょうか？普通に考えますと、私たちが真実の心を持って信じ、浄土に生まれたいと願ってお念仏すれば救われるということですが、しかしながら親鸞聖人はこう言われています。「如来のお誓いの真実なことを真実の心（至心）」というのです。煩惱の身である私たちは、もとより真実の心などありません。また信じ喜びというのも、私たちが清らかな心を持って信じることに励むことではありません。如来の本願が真実だとただ深く願うこと、を信じ喜び（信楽）というのです。真実の心もそれを信じ喜び心も、如来の本願を深く信じなさいと勧めくださっている如来の心そのものをいただくのです。」と。

私たちは「ただ念仏すれば助かります」と聞くと、自分が助かるための手段としてお念仏を行います。お念仏を自らの善根としてしまいます。善根を積んで浄土に生まれるための資格を得ようとしています。その心を親鸞聖人は「自力の心」であるとしなめられています。

しかしながら自力の心を離れがたい私たちが、如来の本願があるのです。「ただお念仏」と聞いて、その念仏さえも自分の手柄として扱っ



ぜひ学習会習会にも
お越しください！
毎月28日13時30分より15時まで
テキストはお寺で販売しております。



正法寺は真宗大谷派の寺院です

本尊	あみだによらい 阿弥陀如来
正依の経典	仏説無量寿経（大経） 仏説観無量寿経（観経） 仏説阿弥陀経（小経）
宗祖	しんらんしょうにん 親鸞聖人
宗派名	しんしゅうおおたには 真宗大谷派
本山	しんしゅうほんびょう 真宗本廟（東本願寺）



真宗について
身近なことから
お伝えします。

「浄土真宗と真宗は違うのですか？」

よくこういう質問を受けます。浄土真宗は十の宗派に分かれており、そのうち本願寺派（西本願寺）だけが『浄土真宗本願寺派』と、法人としての正式名称に「浄土真宗」がついており、他の九派は『真宗〇〇派』と「真宗」のみがついています。正法寺の属するのは、京都の真宗本廟（東本願寺）を本山とする『真宗大谷派』です。この二つは同じものと考えていただいても構いません。

浄土真宗の十派については、毎年配布しております『法語カレンダー』が十派による『真宗連合』が発行してあるものですので、一度表紙をご覧になられて下さい。十派すべてが掲載されております。



↑こちらが法語カレンダー
（平成二十七年版）
正法寺新聞では、
浄土真宗のことを真宗と
表記しております。

てしまうような自力の執心を差して、本心に真実の心などない我が身であったと気がついたとき、改めて自力を離れられない私のために「全てのもを救いたい」と願われた」如来の本願があるのだとただいただけるのではないのでしょうか。

阿弥陀如来の「すべての人々を救いたい」という願いは、**名号（お念仏）**となつて私たちに与えられ、その真実の心によつて私たちが浄土に生まれる因となつて下さっています。自力の心から離れられない私たちが、仏と等しいさとりを得て安らかな境地に生きることになるのは、阿弥陀如来のその願いが完成しているから

正法寺について

お寺に身をおく

目まぐるしく変化していく現代社会においては、お寺はあまり変化がなくつまらないと感じるかもしれません。しかし長い歴史の中で受け継がれてきた教えや、それを伝えてきた場は、変化の著しい社会に身をおく我々にこそ、大切な何かを教えてくれるのではないのでしょうか。



仏教の教え

私達は必ず「死」にいくいのちを生きています。その身の事実に目覚め、現在生きている自分の「生」を問うていく。仏教はいま生きている私に、はたらきかけてくる教えです。



お念仏の道

親鸞聖人が明らかにして下さった「お念仏の教え」は、阿弥陀如来の大いなる慈悲につつまれて、何が起こってくるか分からない苦難に満ちた人生を、明るくたくましく力強く生きていく智慧と力を、この身にいただいでいく教えです。



届いていく場

そのような仏教の教えが届いていく場が真宗寺院の本堂です。老若男女問わず皆様に開かれた聞法道場として正法寺はあります。どうぞ様々な紹介などをご覧いただき、まずはご自分にあった形でお寺にお越しただけたらと思います。

正法寺住職・坊守



「正法寺新聞」をどなたかに渡したいという方はお気軽にお寺にお尋ね下さい。

昨年の4月からスタートした正法寺キッズ、よちよちスタートながら様々な活動に挑戦しました。夏休みは教区のキャンプに参加し、波佐見の安楽寺さんの本堂に宿泊しました。異空間での体験にみな大興奮でした。また、10月の活動ではクッキングに挑戦。今話題の妖怪ウォッチをホットケーキに書きました。

最初はぎこちなく読んでいた『正信偈』のお勤めも徐々に上手になっています。仏様の前でみんなと仲良くする意味も考えながら、お寺だからこそその空間を作っていきたいと思います。



正法寺 キッズ ニュース



正法寺キッズは毎月1回、土曜の14時から16時まで活動しています。参加希望の方は、ホームページで登録されるか、<http://omura-shoboji.jp/>または直接お寺の方へご連絡下さい。毎回参加出来ない方でも登録可能です。



秋の彼岸最終日、車で帰られる隈部先生をお見送り。

正法寺に嫁いで八年、これまで実家との違いに驚くことがいろいろとありました。中でも法要の講師として来られていた先生をお見送りするという伝統には、今でも毎回感動します。写真のように法要終了後に本堂の外階段に並んで車で帰られる先生をお見送ります。毎回こんなに人数が多い訳ではありませんが、本堂に残られている方がいる限り必ずお見送りをされます。先生も皆さんの笑顔にとても喜ばれます。正法寺では伝統で当たり前前の事と思われているかもしれませんが、しかし他のお寺ではなかなか見られない風景です。ぜひ受け継いでいけたらと思います。

坊守の 仏 ツツ日記

お寺での出来事や、お寺での子育ての事などを坊守(ぼうもり)視点で綴ります。

ぜひ『初参り式』をお受け下さい

正法寺では毎年5月に洗心会春の法要の中で、「新生児初参り式」を行っております。新生児でないお子様も、お受け出来ます。仏様の前で家族の誕生をお祝いすると共に、仏様の教えを聴く人生を歩んでいくお誓いをします。今年は5月17日(日)に開催を予定しています。



お願い致します。



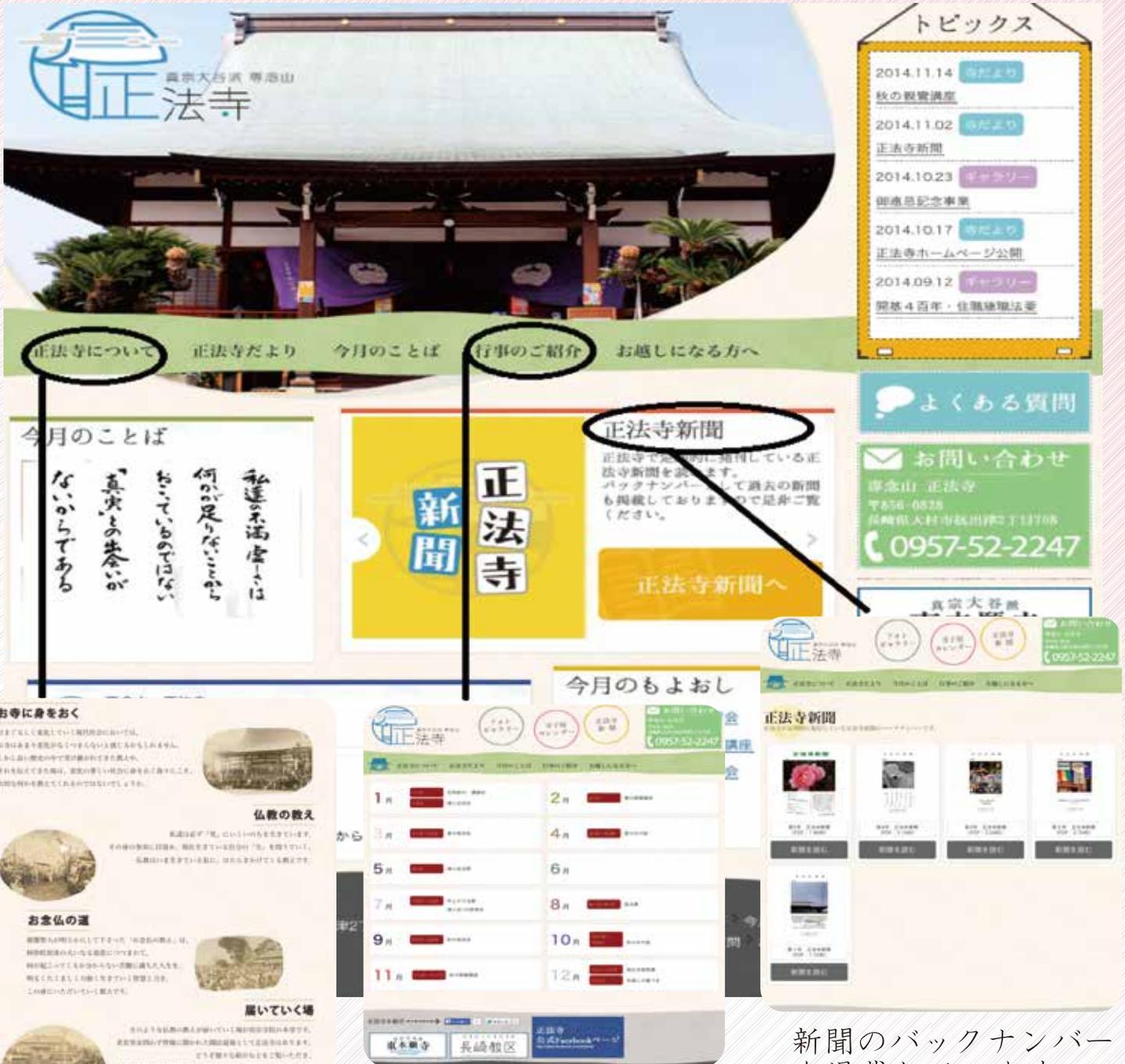
正法寺新聞リニューアル号、いかがでしたか？今後も御遠忌法要特集・紙上体験コーナーなど連載が続きます。そして昨年十月、

正法寺のホームページが出来ました

<http://omura-shoboji.jp/>

正法寺 大村

検索



真宗の寺院とはどういうところなのか、住職・坊守よりメッセージを発信しています。

お寺の行事を確認出来ます。

新聞のバックナンバーを掲載しています。

モバイル端末からアクセスする場合はQRコードをご利用ください

